親　　子

事業所名　福岡市立めばえ学園

（１歳児・2歳児）支援プログラム

作成日　R7 年　2 月　28 日

法人（事業所）理念	・ご利用のお客様の信頼と安心を第一にします。 ・障がいのある方々のくらしをお手伝いします。 ・やる気と工夫で福祉の仕事を広げます。			
支援方針	・生活に見通しを持ち、身の回りの自分のことを自分でする意欲を育てます。 ・集団生活の中で簡単な決まりを知り職員や友達との関係を広げます。 ・遊びを通して、情緒の安定を図り、物・人への興味関心、創造性を育てます。 ・全身を使って遊び、基本的運動能力や感覚を育てます。			
営業時間	8 時　45 分から　17 時　15 分まで		送迎実施の有無	（あり）　なし
	支　援　内　容			
本人支援 健康・生活	・生活リズムの安定を図り健康に過ごします。看護師や保護者と一緒に健康状態や必要な医療的ケアなどについて情報を共有します。 ・食事（給食）・排泄・衣服の着脱等個々の状態を把握し、日常生活動作を身につけられるように支援を行います。 ・定期的に、身体測定、内科健診、歯科健診、視力評価を実施します。			
本人支援 運動・感覚	・運動遊びや園庭遊具遊び、製作や手指遊びを通して自分の体の使い方を身につけ、姿勢、運動、動作の基本的技能の向上を目指します。 ・一人ひとりの感覚の特性を踏まえて、感触（粘土やスライム等）遊びや水遊び、ボールプール等の遊びを提供します。			
本人支援 認知・行動	・「見る・聞く・触る」等の五感を意識した遊びや絵本、歌を通して、環境から情報を修得し、行動につなげる認知機能の発達を促します。 ・「色・大きさ・形」「始まりと終わりなど時間を意識した活動」等認知・行動の手がかりとなるように体験活動を通して、概念を形成していきます。 ・一人一人の認知の特性に合わせて、情報をわかりやすく工夫し、適切な行動につなげられるように支援します。 ＊特性から生じる困り感に対して個々に合わせた適切な支援を行い、行動障害の予防を図ります。			
本人支援 言語コミュニケーション	・一人ひとりの興味や関心を把握しながら好きな遊びをみつけられるよう援助や環境調整を行い、「楽しい」「もう１回」などの気持ちを引き出し「自分の気持ちを伝えたい」というコミュニケーション意欲を育てます。 ・言葉の音と意味を結び付けられるように伝え方の工夫を行い、自発的な発声を促す支援を行います。 ・指差しや身振り、実物や写真カード・絵カード等を用いた表出方法を活用し、表現を引き出します。			
本人支援 人間関係社会性	・親子遊びやふれあい遊びを通して、人との関係を意識し、身近な人との信頼関係を築けるよう環境を設定します。 ・リズム遊びや集まり、簡単なルールのある遊び等の体験を通して集団参加を促し、社会性の発達を促す支援を行います。 ・大人が気持ちを汲み取り、代弁することにより、気持ちや情動の調整を行います。			
家族支援	・家族が安心して子育てができるよう、個別面談を通して相談援助を行います。 ・学習会を通して子育てや福祉制度等に関する学びの機会を提供します。 ・保護者同士の交流の機会を提供します。 ・夏休みにきょうだい児の同伴通園を実施します。	移行支援	・具体的な移行先の園や事業所と連携をとり、スムーズに移行できるように支援や引継ぎを実施します。	
地域支援・地域連携	・施設開放やめばえ広場を利用される地域にお住まいのお子さまや保護者と園庭あそびなどを通し、交流する機会を設けます。 ・地域の公園へ散歩に行く機会を設けます。	職員の質の向上	・園内研修を計画的に行います。 ・外部からのスーパーバイズを受け、療育の質の向上に努めます。	
主な行事等	きょうだい児同伴通園（７月・８月）、家庭訪問（１１月）、クリスマス会（１２月）、おわかれ会（３月） ※他にも季節の遊び（夏祭りごっこ、ハロウィンごっこ、豆まき等）を行います。			